

2019年12月9日(日) 鳥羽 イワシの泳がせ釣り 功成丸 ツレと  
 中潮:旧11/13 満潮04:16(164cm) 干潮09:52(80cm) 干潮15:55(182cm) 鳥羽  
 真史 ヒラメ 2尾 マハタ 30cm 1尾 マトウダイ 1尾  
 ツレ ヒラメ 65cm・44cm他 計4尾 マハタ 30cm 1尾 カサゴ 1尾

4時30分 現地着  
 5時30分 集合・釣り座抽選・出船  
 9時52分 干潮(鳥羽80cm)  
 11時30分 沖上がり



【料金】 乗り合い 12,000円 餌込み 氷付き  
 釣り座は抽選

【仕掛け等】 根掛かりを考え、仕掛けは一人3セット、おもりは各4個ずつ用意した。

自作仕掛け 4セット作製 (前回作製し使用しなかった2セットも持参した)

市販仕掛け(前回の残り) ハヤブサ製 2セット

ハリス7号85cm (親子サルカンから孫鉤までの長さ、親鉤から孫鉤までは14cm)

幹糸8号100cm 捨糸5号45cm 親鉤:丸セイゴ18号 孫鉤:トレブル6号

船上で購入した市販仕掛け ハヤブサ製 2セット

ハリス8号 90cm (親子サルカンから孫鉤までの長さ、親鉤から孫鉤までは18cm)

幹糸10号100cm 捨糸5号50cm 親鉤:丸セイゴ18号 孫鉤:トレブル6号

おもり 60号80号

竿受け イワシ用網 魚を絞めるためのナイフ・ゴム手袋

### 【自作仕掛け】

○リーダーが7号4ヒロ付けてあることから幹糸なしの仕掛けを作った。

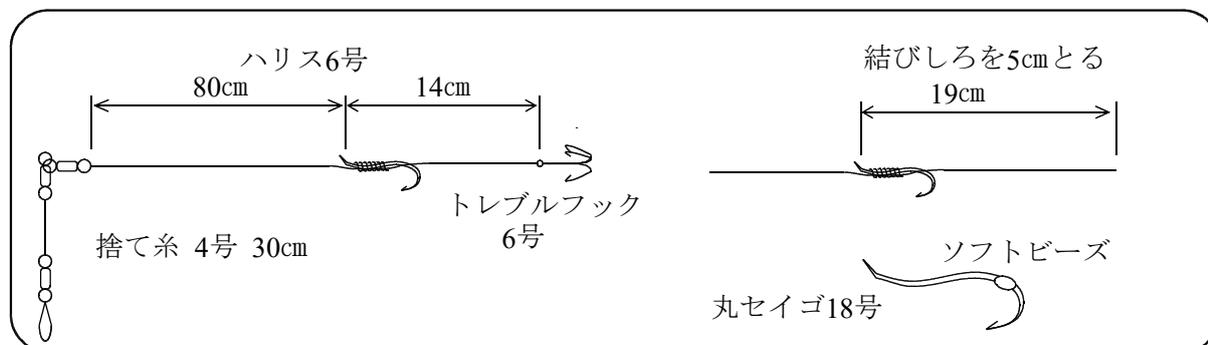
竿「YOIKA BB」のガイドにはPEラインとフロロ7号との結び目がひかかる。

(竿「ライトゲームCI4 モデラート」のガイドでは、結び目がひかからない。)

リーダーを付けずに、幹糸を付けた仕掛けにするか、検討の余地がある。

○ハリスが根掛かりしたとき、ハリスだけ切れるように、ハリスを6号にした。

しかし、今回、一度根掛かりした。リーダーと道糸の結束部分で切れていた。リーダーのチチワが残っていた。(チチワの結び目で切れていた。)



ハリス 6号 80cm リユース

捨糸 4号 30cm 新品 丸セイゴ18号 新品 ソフトビーズ リユース  
親子サルカン・スナップサルカン リユース  
トレブルフック6号 → 図には6号とあるが、今回も「変形トレブル8号」を付けた。  
やっぱりサイズが小さいと感じた。

## 【様子】

- 天気予報が晴れだったので、4日前に予約を入れた。お客さんは自分たちを入れて11名だった。
- 天気は晴れ。白波が少し立っていた。うねりがあり、船が大きく上下した。
- 出船時刻5時30分の2時間前に酔い止めを飲んだ。後半、少し気分が悪くなった。魚を締めるために下を向いていたら、ますます気分が悪くなった。眠気があり口も渴くので薬は効いているようだが…。ツレも少し酔ったようだ。
- 1番くじを引いた。揺れの少ない胴を選んだ。右舷を進められ二人並んで座った。
- 胴になったにもかかわらず、酔ってしまった。
- 右舷に入り、終日、仕掛けが船の下に流れる状況だった。
- 今日はヒラメを1枚ずつと何か1・2尾釣るとというのが目標だった。
- 「おもりは60号を用意しておいて」とアナウンスがあった。
- 水深は40mくらいだった。
- 釣り始めてすぐに左舷の人がワラサを掛けた。ワラサが泳ぎ回り、仕掛けがだめになった。おもりに「6」と書いてあったので、おもりだけ戻ってきた。船長が「マトウダイが釣れており、左舷の人の入れ物に入っているから、持って行って。」と言ってくれた。‘釣った’のではなく、‘釣れていた’ということだ。
- 今日は「根掛かりに気を付けながら、底べったりを狙うこと。」だったので、それを試した。当たりがあつて、1枚ゲットした。
- しばらくして当たりがなかったので、おもりを底から少し上げて、待っていた。当たりがあつて、1枚ゲットした。
- この間、ツレも2枚釣っていた。2枚とも自分の方が大きいけど、2枚ずつ釣れて良い感じである。
- 当たりが遠のいたというので、「船を横に流すので、おもりを80号にしてください。」とアナウンスがあつた。自分は仕掛けを落とすのが遅かったようで裏の人とお祭りとなった。横に流すのは1回きりだった。おもりを60号に戻すようアナウンスがあつた。
- 当たりが遠のいたというので移動となった。
- 水深60mだった。
- 少しして当たりがあつた。よく引く。残念。マハタだった。
- ツレに当たりがあつた。おもりが着底してすぐだったとのこと。電動の巻き上げが何度も止まった。座布団級だ。後で測定したら65cmだった。
- しばらくして、また、ツレが掛けた。こちらも良型だった。後で測定したら44cmだった。
- 後で聞いたことだが、「水深が深い方が良型が釣れる」とのこと。その通りだった。
- こちらにも当たりがあつた。強い引きだ。残念。根掛かりだ。糸を切った。PEラインとリーダーの結束部分で切れていた。リーダーのチチワだけが残っていた。チチワの結び目で切れていた。ハリス6号、リーダー7号であるにもかかわらず、リーダー7号で切れていたということは、サルカンとハリス6号の結束力より、リーダー7号のチチワの結束力の方が弱かったということだろうか。
- 仕掛けがないものと勘違いし、船上で仕掛けを購入した。500円だった。
- 6号フロロをリーダーに二ヒロ、八の字結びでループトウループで結束した。そこに市販仕掛けを付けた。
- 「あと、一流しで終了です。」とアナウンスがあつた。

- 最後の一流しは隣の人とお祭りとなり納竿となった。11:30分だった。
- 仕掛けは、自分が4個で、ツレは3個使用した。おもりは60号を1個なくした。のませ釣りでは仕掛けをたくさん準備しておく必要がある。

#### 【ツレの釣り方】

- 底を取ったらすぐにリールを半周か1周巻いておもりを底から上げて待っていた。
- 合わせるタイミングは、「喰ってる、喰ってる、喰ってる、喰ってる、…。掛かっているのは間違いないと確信したら、次の引きで合わせを入れ、巻いた。」
- 隣のベテランさんにその釣り方を上手だと言われたとのこと。
- 当たりがあって、かなり待った、当たりがなくなったので、「いなくなったかなあ」とつぶやいたら、「まだ、いるかもしれないよ。」と言われ、しばらくしたら当たりがあったので合わせた。ヒラメだった。
- 合わせはめっちゃ待ってから合わせた。

#### 【早い合わせはダメ】

- 自分は当たりが3回くらいあったのち、次の大きめの当たりで合わせていた。ベテランさんに合わせが早いと言われた。

#### 【隣に座ったベテランさんの話 ー釣り方ー】

- おもりを底に着けると糸にたるみが出るからダメ。糸は常にピンと張っておく。
- 誘うときは竿をグーッと持ち上げて10秒ぐらいそのまま待つ。その後、その位置で10回くらいリールを手で巻いて仕掛けを上げる。そして、サミングしながら底まで落とす。その間に青物が食ってくるかもしれない。
- この方はヒラメを5枚釣った。

#### 【前回の日誌を参考に次回に向けて】

- 波が高いときは餌が安定するようにおもりを底につけておく。波がないときは根掛かりしないようにおもりを底から少し上げておく。